

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.185)

## 1. PCB処理安全監視委員会について

8月19日(月)に、令和元年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会では、JESCOからは豊田PCB廃棄物処理施設の処理実績や進捗状況、周辺環境への影響の状況等を報告し、PCB廃棄物処理が順調に進んでいることをご確認いただきました。

委員の方からJESCOには、令和4年度末の計画的処理完了期限までに全てのPCB廃棄物の処理を完了するため、安全操業を継続するようご意見がありました。

豊田市からは、豊田PCB廃棄物処理施設への立入検査の状況及び平成30年度PCB環境モニタリング調査結果について、いずれも問題ない状況であったとの説明がありました。

JESCOの処理エリアである愛知県、岐阜県、静岡県、三重県及び7政令市からは、東海地区広域協議会の取組として、東海地区PCB廃棄物処理計画を策定し、PCB廃棄物保管事業者の掘り起こし等の取組を進めていることの説明がありました。委員の方からは、期限内に処理が完了するよう、掘り起こしを一層推進するようご意見がありました。



環境省からは、PCB廃棄物の適正処理推進に向けた取組として、都道府県市による掘り起こし調査の支援内容やPCB廃棄物等の早期処理を呼びかけるテレビCMや地方紙等を活用した広報について説明がありました。委員の方からは、視聴者の関心が高められるようドキュメンタリー番組などの提案がありました。

## 2. 環境省職員の視察

8月6日(火)に、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課職員2名が当事業所を視察されました。



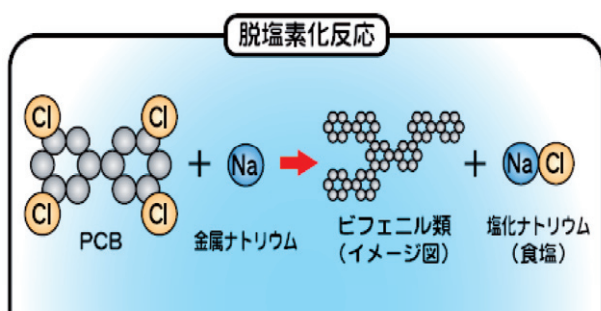
変圧器やコンデンサー等のPCB廃棄物を受け入れる工程、PCB廃棄物からPCB油を抜き取った後に解体して洗浄する工程、PCB油を分解する工程等を視察されました。  
視察後には、PCB廃棄物の処理に伴って副次的に発生する運転廃棄物について、処理が進んでいることをご説明しました。

### PCB処理事業紹介シリーズ 第33回

今回は化学処理による廃PCB等(液状PCB廃棄物)の分解(無害化処理)についてご紹介します。

廃PCB等(液状PCB廃棄物)を化学的に分解する処理方式には、以下のようなものがあります。

脱塩素化分解	PCBの分子を構成している塩素とアルカリ剤等を反応させてPCBの塩素を水素等に置き換える方法。
水熱酸化解	超臨界水(温度と圧力を調整して反応性を高めた水で、液体でも気体でもない状態にした水です)や超臨界状態に近い水によってPCBを塩、水、二酸化炭素に分解してしまう方法。
還元熱化学分解	還元雰囲気条件の熱化学反応によってPCBを塩、燃料ガスに分解してしまう方法。
光分解	紫外線でPCBを構成している塩素を取り外してPCBを分解してしまう方法。
プラズマ分解	アルゴンガス等のプラズマ(気体分子が高度に電離した状態)によってPCBを二酸化炭素、塩化水素等に分解してしまう方法。



これらの処理方式の中から、豊田PCB処理事業所では、脱塩素化分解方式(反応)を採用しています。

PCB分子のCl(塩素)とアルカリ剤としてのNa(金属ナトリウム)と化学反応させて、ビフェニル類とNaCl(塩化ナトリウム)に分解し、無害化処理をしています。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのぴーちゃん

